

2022 年 12 月 8 日

BMW iX が「デザイン・カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞

史上初: 電気自動車によるデザイン・カー・オブ・ザ・イヤー受賞

**BMW グループからのデザイン・カー・オブ・ザ・イヤー受賞は昨年の BMW 4 シリーズに
引き続き 2 年連続**

一般社団法人「日本カー・オブ・ザ・イヤー」実行委員会主催（実行委員長: 清水謙一）の 2022-2023 日本カー・オブ・ザ・イヤーにおいて、BMW の次世代自動車 BMW iX は、一次選考において、上位 10 モデルとなる 10 ベスト・カーの栄冠に輝くと共に、本日に開票が行なわれた最終選考会において、秀でた内外装デザインを持つクルマである「デザイン・カー・オブ・ザ・イヤー」に輝いた。

BMW iX は、大胆かつモダン、さらには、最小限をコンセプトに、フロント・デザインにおいては、BMW のデザインを特徴づけるキドニー・グリルを大型化し、キャラクターを強調しつつ、BMW ラインアップの中で最もスリムなヘッドライトのデザインを採用することで、次世代のイメージを彷彿とさせている。リヤ・デザインにおいては、ヘッドライト同様に薄くシャープなリヤ・ライトを採用しデザインの一体感を表現しつつ、エアロダイナミクスを追求したディフューザーや、リヤ・トレッドをワイドにすることで、存在感を表現している。

インテリアにおいても、次世代を彷彿とさせるデザイン・エレメントを多く取り入れている。BMW モデルとしては初めて、メーター・パネルとコントロール・ディスプレイを一体化させ、デザインを際立たせていると共に、形状を湾曲したカーブド・ディスプレイとすることで、操作性、視認性を高めている。多くのボダン類を廃止し、送風口をスリム化することで、運転席回りをすっきりとさせつつ、BMW 特有の iDrive コントローラーを他モデル同様に装備することで、抜群の操作性を誇っている。また、六角形のステアリング・ホイールを、BMW モデルとして初めて採用するなど、革新性も表現している。ヘッドレスト一体型のシートの採用、大人 5 名乗車でも、後席においてもゆったりとした室内空間を誇るなど、まるで上質なラウンジで過ごすようなリラックスした空間を提供している。

今回の受賞理由は、以下の通りである。

「これまでの BMW デザインとは全く異なる世界観・方向性、リスクを恐れずに変化なくして新たな時代を作ることはできないという考え方で新たな境地を開いた。垂直でほぼ全面的に囲い込まれた BMW キドニー・グリルなど、従来のデザイン言語を踏まえながら、革新的な取り組みを高く評価したという声が聞かれた。またラウンジを彷彿させる優雅なインテリアについても従来の自動車の概念を覆すものという評価も集まった。これらのデザイン・エレメントが、日本カー・オブ・ザ・イヤー選考委員によって評価され、今回の栄誉ある賞の受賞となった。」

BMW グループにおける日本カー・オブ・ザ・イヤー過去 11 年の受賞歴

インポート・カー・オブ・ザ・イヤー

- 2012-2013 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 3 シリーズ
- 2015-2016 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 2 シリーズ アクティブ ツアラー/グラン ツアラー
- 2019-2020 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 3 シリーズ セダン

デザイン・カー・オブ・ザ・イヤー

- 2021-2022 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 4 シリーズ
- 2022-2023 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW iX

テクノロジー・カー・オブ・ザ・イヤー (旧: イノベーション部門賞)

- 2014-2015 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW i3

パフォーマンス・カー・オブ・ザ・イヤー (旧: エモーショナル部門賞)

- 2016-2017 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW M2 クーペ
- 2018-2019 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW X2

本件に関する読者および視聴者からのお問合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>